

令和3年11月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時 令和3年11月26日(金) 午後1時30分

場 所 市庁本館3階 議会第2委員会室

出席者	教育長	伊藤	博章
	教育委員	築瀬	眞知雄
	教育委員	油川	育子
	教育委員	小瀬川	喜井
	教育委員	福井	武久

事務局出席職員	教育部長	石亀	純悦
	教育部次長兼教育総務課長	中里	充孝
	教育部次長	大館	秀光
	学校教育課長	熊谷	誠二
	教育指導課長	南舘	義孝
	社会教育課長	三浦	幸治
	是川縄文館副館長	松橋	広美
	総合教育センター所長	河村	雅庸
	こども支援センター所長	大坂	吉弘
	図書館長	田茂	隆一
	博物館長	小保内	裕之

開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、令和3年11月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、小瀬川委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等について説明いたします。

主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などありましたらお願いします。

[質疑なし]

本日は議案の提出がありませんので、報告事項にまいります。

はじめに、「一王寺遺跡出土の土面について」事務局からの説明をお願いします。

【一王寺遺跡出土の土面について】

(松橋是川縄文館副館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

(小瀬川委員)

感想を申し述べたいと思います。今回、これまで国内最古とされていた土面より1,000年以上も大きく歴史を遡る土面がこの八戸から出土したということです。新聞の一面に出土品が掲載されることは、なかなか無いというふうに向い、驚きと嬉しい気持ちで拝見しておりました。

余談ですけれども、11月3日の「是川縄文の日」に縄文館に向いました。多くの親子連れが訪れている姿を見かけ、小学生のようなお子様もたくさん訪れているのだなと感じていたところでした。学校で訪れて、みんなと学ぶ良さもありますし、個人で訪れて自分のペースで興味があるところをじっくり観察する、そういった学びもあるかと思えます。この土面は、11月13日から28日まで展示されているということでしたけれども、今は非常にコロナの感染者も落ち着いており、是非子どもたちにも見てもらいたいものだなと思っておりましたので、冬休みであったり夏休みであったり、また一般公開をしていただきたいなと思います。以上です。

(松橋是川縄文館副館長)

ありがとうございました。土面については28日までの展示で一応終わることになりますけれども、今後とも一般公開を継続したいと思っておりますので、縄文館の1階になるか分かりませんが、適した場所に常設展示できればと考えていました。それが決まりましたら、改めましてお知らせしたいと思えます。

(伊藤教育長)

そのほか、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

(油川委員)

現在一般公開されているということですが、多くの方に見ていただけるように、迅速に公開に踏み切ってくださいました対応につきまして、一市民として大変ありがたく思いました。私からは感想と提案を四点ばかり申し上げたいと思います。

一点目ですが、先ほどのお話にもありましたように、全国的にもニュースになったということなのですが、コロナ禍で自粛なさっている県外の皆さんにもお見せすることができるように、コロナ禍が落ち着きましたらば、改めて展示する機会を設けていただけたらなと思いました。

二点目ですが、この土面の特徴に「3つの貫通孔によって両目と口が表現されている」と記載されているのですが、目は分かるのですが口はどこなのかなと思いました。

三点目です。この土面は顔に付けるには小さくて、儀式の中で使われる際に、手に下げるなどして使用されたのではないかと拝察されているようですが、小学校、中学校の社会科の授業などで、子どもたちに考えさせてみてはいかがかなと思いました。一体どうやってこれを用いたのかを考えることによって、縄文時代を身近に考えるきっかけになるのではないかなと思いました。

最後に四点目なんですが、土面の公開を見ていないので、実際にどのように紹介されているのか分からない上での発言で大変恐縮なのですが、私だけかもしれないのですが、土偶は比較的認知度が高いのに対して、土面については知る人が少ないのかなと思いました。土偶と土面の役割の違い、それから使われ方の違いなどについて、分かっていることを伝えてもらえたら、さらに理解も深まるのかなと思いました。

(松橋是川縄文館副館長)

一点目のコロナ禍でなかなか見ることのできない方への周知ということでしたけれども、段々と是川縄文館の方にも色んな所からの来館者が増えてきておりますので、現在の企画展の中で見ていただけている方も多くなってきております。先ほども申しましたけれども、今の展示が終わった後も適切な場所で公開できたらなと検討している段階ですので、それを御利用いただければと思っております。

二点目の土面の両目と口の位置についてです。資料の写真だと見にくいのですが、右下の1/4が欠けておりまして、その中心に近いところに実は貫通孔があります。正面からだとは分かりにくいのですが、横から見ると貫通している跡、つるつとした穴が空いている跡が見えますので、展示物を横から見ると、その跡が御覧いただけるかもしれません。

小学校とか中学校の社会の授業で取り上げて考えていただくという御意見については、社会の先生にも相談して考えてみたいと思います。現在行っている出前講座の中でも、そのように考える場面も色々出てくると思いますので、授業での活用という点で検討したいと思います。

最後、土偶と土面の違いについてです。土面はなかなか目にする機会も少ないかなと思います。今回の企画展の中では土面を展示していますけれども、土偶ほどの認知度が少ないですので、日本最古の土面が見つかったことをきっかけに、さらに土偶との違いなどについても周知できればいいかなと思いますので、今後検討してまいりたいと思います。以上です。

(油川委員)

丁寧な御説明ありがとうございました。先ほどの説明で、土面の口については実物を見ると分かるということでしたが、私もまだ土面の公開を拝見していませんでしたので大変恐縮しております。ありがとうございました。

(伊藤教育長)

そのほか、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

(築瀬委員)

先ほどのお二人の質問などからも分かったことがたくさんあったのですが、少し重なる質問になるかもしれないませんが、この土面というのはどんな行事で使っていたとか、そういうのは分かっているのでしょうか。簡単なことですが。

(松橋是川縄文館副館長)

想像でしか言えないのですが、色々研究されている中では、やはり祭祀とか祭りの時に使われたと考えられることが多いようです。今回の土面については8センチという、すごく小さいものになります。土面の中には、両耳の脇のところや近くにひもを通せるような穴が空いているものも結構あるのですけれども、今回の土面はとても小さくて穴もなかったのも、恐らく手で持って顔の前にかざして、祭りの時に使われていたものではないかというように考えられております。以上です。

(築瀬委員)

ありがとうございます。今の大きさについても聞きたいことで、一般的にはどんな大きさなのかなと思っていたのですが、小さいというようなことでしたので分かりました。世界遺産としての視点もあるので、是非こういったものは活用してPRに使ってもらいたいと思います。この土面が最古ってというのは確定したんですか。要するに、私も専門じゃないので分かりませんが、鑑定したとか。

(松橋是川縄文館副館長)

鑑定というか、一応専門家の方にも見てもらっています。土偶と土面の専門家の方がいらっしゃいますので、その方に見ていただきました。6月には出土していたのですが、なぜ公開までにこんなに時間がかかったのかと言いますと、色んなものを参考に調査したり、専門家の方から意見を聞きながら調査したということになります。結果としては、最古と言っていいと思います。

(築瀬委員)

例えば国が最古だと証明してくれるとか、そういうのはあるんですか。認可するとか。

(小保内博物館長)

国がお墨付きを与えることはないです。同じ考古学者の中でも、一人ひとり専門が違います。今回お伺いしたのは土偶の専門家ということになります。土面などのお祈りに使う道具の専門家に聞いております

ので、その方が言えば、ほぼ間違いないだろうということになります。

(築瀬委員)

そうだったんですね。勉強になりました。ありがとうございます。最後に、もしそれが最古だということになれば、前の物は最古じゃなくなります。前の物が重要文化財であれば、今回の土面はもっと重要なものということで、もっと上の重要文化財にもなっていく形になるのですか。それとも、その辺は分からないのですか。

(松橋是川縄文館副館長)

重要文化財になるのは、地元から提案するとかそういうものではなくて、国が決めることになります。こちらの方からなんとも言えないというのが答えになりますけれども、今回は完全な形ではなかったということもありますけれども、これまでの重要文化財になる例としては、多数の出土品がまとめて重要文化財になるケースが多いです。今まで最古と言われていた矢野遺跡も、土面一つだけではなくて、多数の出土品の中の一つである土面が今まで最古だったと言われていたものになります。合掌土偶のように完全な形で出てきたのであれば、重要文化財になってから、その中の一つの合掌土偶が国宝に選ばれるということがありますけれども、今回の可能性としては難しいのかなと思っています。

(築瀬委員)

分かりました。資料を読んでいて期待したのですが。ありがとうございます。

(伊藤教育長)

手元にあるカラーの写真は、これ実物大になりますか。

(松橋是川縄文館副館長)

はい。それは実物大です。

(伊藤教育長)

ですよ。そうすると、これが実寸サイズということになりますね。分かりました。

そのほか、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

(福井委員)

最近本屋さんとか行くと縄文の本がいっぱい出ております。本屋さんの協力もあって手前に置いてあるので、いつか見ようと思いつながら見られないでいました。先ほどの年代測定でしたが、蒸し返すようで申し訳ないのですが、科学的にC14（※炭素14年代測定法）とか色々やっているのでしょうか。

(松橋是川縄文館副館長)

年代測定については、分解しないといけないものになりますので、今回は分解しませんので、そういう測定はしていません。

(福井委員)

じゃあもう一点ですけども、この欠けている部分は現在も探しているのかってということと、欠けている部分を補って、完全な形を予想するような取組などありますでしょうか。難しいこととは思いますがけれども、何かそういう面白い内容などあったら。

(松橋是川縄文館副館長)

はい。まず今回1/4くらい欠けている部分については、周辺から見つかってはおりません。今回の発掘調査につきましては、内容を確認するための調査の中でこの珍しい土面が出てしまったのですけれども、それを追及してさらに掘り進めることはやりません。土面についての発掘は今回で終わりになります。土面の今後については、とりあえずはこのまま保管して公開していくという形のみで考えております。以上でございます。

(福井委員)

ありがとうございました。

(伊藤教育長)

そのほか、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

次に「南郷歴史民俗資料館コレクション展「酒」について」、事務局からの説明をお願いします。

【南郷歴史民俗資料館コレクション展「酒」について】

(小保内博物館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

(油川委員)

大変興味深い展示をありがとうございます。私のように日本酒が好きな人が足を運ぶのかなと思います。質問ですが、親子で楽しめるとおっしゃっていましたが、まだお酒を飲む年齢ではない、お酒に興味を持っていない年齢の子どもたちに対しては、どのような工夫をされて展示をされているのかを伺いたいと思います。お願いいたします。

(小保内博物館長)

今回はミニコレクション展ということでして、解説パネル等は一切設けていません。素直な感覚で物を見てほしいと思います。例えば、酒瓶であれば、様々なガラスの色の違いであるとか、ラベルもですね、今回展示した戦時中のラベルっていうのは非常に圧巻なんですけれども、縦4×横4の16枚を一つの額に飾りまして、それが三つ並んでいます。それは酒器の、酒にまつわる一部ではあるのですが、ある特定

の時代の広告みたいな形で見ていただければということです。そのほかのラベルも展示しておりました。

(油川委員)

ありがとうございます。20歳未満の皆さんに対しては、時代の背景を感じてもらえればということで工夫されており、ありがとうございます。

(伊藤教育長)

そのほか、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

【冬季企画展 是川遺跡の鉢型土器について】

(松橋是川縄文館副館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

[なし]

事務局からは以上のようなようです。

それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。

(油川委員)

私からは、今月24日に愛知県で発生しました、中学校での事件について少しお話をさせていただきます。児童期とか思春期の問題行動というものは、既に幼児期から出現しているということが分かっておりますので、早い段階から介入することが望ましいと思います。その入口となるのが、保育所、幼稚園、認定こども園といった教育、保育機関であったり、それから児童相談所であったり、その他公的な機関であるかと思えます。早い段階で子どもの問題行動に気付いて、社会的に介入していける制度であったり、幼稚園、認定こども園、保育所のこれまで以上の充実ということでしたり、育児休業制度の充実といった諸々のことをさらに追及して行って、二度とこのような事件が起こらないように、私たち大人が知識を深めて、知恵を出し合っていくことが非常に大事なのかなと思いました。特に、私たち乳幼児教育に携わっている者が、幼児期から出現しているもの、その出現というものがなんであって、それが将来どのような問題行動に繋がっていくのかというものを、もっともっと追求していく必要があると痛感いたしました。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。関連質問でも結構ですが、そのほか何かございませんか。

(築瀬委員)

コロナの影響で、ずっと学校訪問への教育委員帯同が中止となっていたのですが、11月から人数限定ですが再開されて、ありがたいなと思っていました。各学校においては特別支援教育の視点を取り入れた授業作りを意識しており、当市教育の主要事業の一つでもあります。特別支援教育の充実に非常によく取り組まれております。とてもよく浸透しているなと思って見ていました。また、特別支援アシスタントとか特別支援教育看護支援員等の人的配置についても、有効に活用されているのも拝見してまして、今後さらさらに現状維持より一歩進めるような形で、手厚い支援を進めていただきたいなと強く感じています。

最近、この学校訪問だけではなくて、地域や学校を始め、色々な場面で子どもと触れる機会があるのですが、ちょっと感じているのが、表面的には素直に振る舞っている子どもたちのことなんです。一つ一つの言葉や行動を見ていると、どこかに不安感というか、不満があるというか。ちょっとしたことで、なんかモヤモヤしている感じが見受けられることがあるんですね。考えてみると、子どもたちはコロナ感染予防のために、学校でもあまり身近で会話をしないようにとあって、距離を置かなきゃならない。あるいは、いつも遊んでいる体育館で遊べないとか、家へ帰っても友達と遊んじゃいけないとか。極端ですけども、そういうことなんです。孤独なんですよ。

そういった状況を考えると、子どもたちの心の中には、何かしら今までと違うものが芽生えていたり、流れていたりするのではと危惧しているのです。先ほど油川委員が言っていた事件と直接関係がある訳ではありませんけれども、さらに人間同士のそういう関係を深く精査するとか、学校ではそういった取組が必要だと思いますし、教育委員会でも重点を置いていくとか、これから必要になってくると感じているんですね。教育委員会では、いつも命最優先であると言って、それは確かにもっともなことではあるのですが、その言葉だけでは済まない現実もあるので、子どもたちの活動が保障されるような学校作り、その辺を上手く取りこめるような話し合いなり、助言なりがこれから必要になるのかなと思っていました。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。そのほか委員の皆様から何かございませんか。

[なし]

閉 会

これもちまして令和3年11月教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後2時14分閉会)